

東北ヘルプ」のブログをご覧頂いております皆様に

「福島の実情——福岡百子の声」主宰
千葉県松戸市 福岡百子

2013年7月6日

この度、神様のお恵を戴いて、川上直哉牧師様とご縁が結ばれ、「東北ヘルプ」にお世話になるようになりました福岡百子と申します。

私は普通の主婦、少々病弱で体調不良から外出はあまりできない者です。2011年3月11日。あの震災が起きました。他者の悲しみを放っておけない性格の私は、少しでもお役に立ちたいとの思いから、朝日新聞を見て、一夫婦に支援を始めたのが活動の始まりでした。まず我が家の寝具を調べ、衣類・くすり箱・食器・消耗品・食べ物、役に立ちそうなものを家中チェックして、避難所に、夫婦に送りました。そして、避難所には大勢居られることを知り、友人に呼びかけたところ、輪が大きく広がり今日に至りました。

私は活動し始めた頃、心配で眠れない日もありました。被災者は毛布が必要と言うけれど、品物は集まるかしら？と。しかし本当に不思議でした。どこからともなく、被災者が必要としている品物が集まるのです。被災者からのSOSの電話が入ると、すぐに支援者から電話が入る、それはいつも、被災者が今、求めた物でした。

私はこの活動をしながら感じました——神様が私達を動かして下さって居られるということ。支援者を結びつけるのも神様、被災者を結びつけるのも神様。私達は神様の手足にすぎない。私達活動の代表者は神様、私達の社長さんは神様、私達は社員、偉い人は誰もいない。被災者も支援者も皆神様のご縁で結ばれた大切な仲間。神様は一人一人をとっても愛している。大切に思っている。みんなが幸せになって欲しいと望んでおられる。

私達支援者は、神様のこのお心を何よりも重んじなければならぬし、神様と同じ心を持つようにならなければならない。と、そのように思いました。

みんなが幸せにならなければ嘘です。どんなに小さな命でも、虫も花もいただいた生命をキラキラ輝かさなければ嘘です。支援活動を続けるうちに、そう思うようになりました。

どうぞ皆様小さなご支援で結構です。あなたの「まごころ」が今、被災者には必要なのです。川上牧師様のご好意により、続けて私の原稿を載せて頂く事になりました。今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。

【問い合わせ】(AM10:00~PM5:00) FAX 047-346-8675

ブログ:「福島の実情——福岡百子の声」<http://ameblo.jp/aiwazion/>